

2025 **5/6** 火 13:30~15:30

いのちをつなぐ水と流域 地球市民フォーラム in EXPO 2025

"The EXPO 2025 Global Citizen Forum
on Water and Watersheds for All Lives"

会場 大阪・関西万博会場（夢洲）「テーマウィーク・スタジオ」

2023年愛知、2024年大阪、2025年東京・・・
未来かがやく持続可能な社会の創造に向け、
森里川海の流域での諸課題を幅広く研究する3つのフォーラムを開催。
その成果を、大阪・関西万博で日本から世界に発信します。

使用言語：英語 スマホで聞ける日本語の同時通訳が入りますのでイヤフォン・ヘッドフォンをご持参ください。なおスライドは英語表記です。

13:30 映像上映

13:35 司会挨拶

(開催目的の説明および成果報告)

朴 恵淑 三重大学名誉教授 (元副学長)
WHO アジア・太平洋環境保健センター (WHOACE) 初代所長

13:40 基調講演

1 福井 弘道
「水と流域」プロジェクト推進委員会 委員長
中部大学 中部高等学術研究所 所長



2 Pema Gyamtsho
国際山岳総合開発センター (ICIMOD) 所長



3 Karl Burkart
One Earth 共同創設者・副ディレクター



**14:25 パネルディスカッション
『水と流域の未来』**

パネリスト

Jaehyang So
Global Water Partnership (GWP) 技術委員会 (TEC) 委員長
運営委員会メンバー、元世界銀行



小池 俊雄
国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター
(ICHARM) センター長、東京大学 名誉教授



竹本 和彦
国際湖沼環境委員会 (ILEC) 理事長、海外環境協力センター (OECC) 理事
ICLEI (持続可能な自治体協議会) 日本理事長



ファシリテーター

廣木 謙三
政策研究大学院大学 (GRIPS) 教授、水と災害に関するハイレベル専門家
パネル (HELP) コーディネーター



**Pema Gyamtsho 氏
Karl Burkart 氏も参加**

同日 大阪・関西万博会場内サステナドームにて
ジュニア SDGs キャンプも開催

10:00~ 京の川となにわの海をつなぐいきものたち
13:00~ 「ヨシ」ってなに？ ~ヨシ笛つくりでヨシのすごさを学ぼう
15:00~ ミニチュアアクアリウムづくり
17:00~ わたしの流域マップをつくろう！ ※詳しくは裏面へ

15:20 提言文の発表



水と流域・地球市民対話プロジェクトは、
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

主 催：「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト」推進委員会
共 催：イベント学会、地球産業文化研究所 (GISPRI)、中部 ESD 拠点協議会 (国連大学認定 RCE)、中部大学国際 ESD・SDGs センター

大阪・関西万博 EXPO2025 ジュニア SDGs キャンプ 「いのちをつなぐ水と流域・地球市民ワークショップ」

日時: 2025年 5月 6日(火・祝) 10:00~18:00
会場: 大阪・関西万博会場内 サステナドーム
内容: ワークショップ・体験プログラム



参加にはプログラムごとに万博公式サイトからの予約が必要となります。
また、予約・抽選には万博 ID と入場チケットが必要です。

予約は各QRコードから

■ 10:00~12:00 (定員 25名)

京の川となにわの海をつなぐいきものたち

京都の川と大阪の海を行き来する魚類・エビカニ類・貝類などを生きたまま見たり触ったりする体験を通じて、淀川河口の干潟の大切さを実感してもらう。

出演団体 京の川の恵みを活かす会(代表: 竹門康弘)



■ 13:00~14:00 (定員 25名)

「ヨシ」ってな〜に? ~ヨシ笛づくりでヨシのすごさを学ぼう

葦笛を作りながら、ヨシが水質浄化に役立っていることや、魚類や野鳥の住処にもなっていること、また古来からかやぶきに使われるなど大きな役割を持っていることを知ってもらう。

出演団体 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会(BYネット)(代表: 澤井健二)



■ 15:00~16:00 (定員 25名)

ミニチュアアクアリウムづくり

実際の魚を観察しながら、自分だけのミニチュアアクアリウムを作ろう。自分の目で見て、模型に色をぬることで生き物を見る目を養い、魚がすみやすい水辺を考えよう。フィールドの素材を生かしたミニ水槽づくり体験をすることができます。あなたが描く水槽は自然でいっぱい? それともゴミでいっぱい?

出演団体 魚と子どものネットワーク(代表: 新玉拓也)



■ 17:00~18:00 (定員 25名)

わたしの流域マップをつくろう!

「いのちをつなぐ水と流域」をテーマに、参加者が生活の場としての流域を意識し、環境保全の大切さを楽しく学ぶワークショップです。地図をつくったり、流域住所を発見したり、親子で学んで楽しめるプログラムです。

出演団体 中部ESD拠点協議会/中部大学国際ESD/SDGsセンター(代表: 古澤礼太)



ジュニア SDGs キャンプの会場は
フューチャーライフゾーン南東角の
西ゲートすぐ西にあるドーム状の
「サステナ・ドーム」です。

